

新川会通信

第34号

# すまいる

発行  
社会福祉法人新川会

〒930-0362  
上市町稗田字七郎谷1-32  
Tel(076)472-1118  
Fax(076)472-5391  
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp  
HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 倉田 淳

次へのステップ  
（四半世紀の節目に立つ）

四つの市町村からなるこの地に、『核となる知的障がい者施設を建設し、将来、地域で暮らす障がい者が安心して暮らせる福祉エリアを築こう』と云う思いが結実し、平成三年六月に社会福祉法人新川会が発足してから、二十五年の節目を迎えました。この間、福祉制度は、支援費制度へと大きく転換し、障害者施策も、障害者自立支援法、障害者総合支援法と改編が行われました。

障害者自立支援法の下、地域で独自に活動していく「作業所」と法人の「分場」の統合を経て、平成二十四年に傘下の全ての施設・事業所が新体系への移行を終え、法人が掲げてきました当初の目標をほぼ達成することができました。法人の設立から二十年目でした。

二十五年目の今、新川会では、グループホームの増築と四ツ葉園（旧館）の大規模改修を計画しています。

グループホームは、居室（6室）に加え、新たに二ースに対応します。四ツ葉園の改修では、利用者の加齢・高齢化による介護支援ニーズの増大、障害状況の多様化等、その対応を迫られています。

具体的には、①身体機能の低下に備え、居室のフルット化やトイレの改修。②「職」「住」分離に向けた訓練・作業等の日中活動のための施設・設備の整備。③調理場や事務・管理部分の効率化・機能強化です。

当然、施設整備に併せ、自分らしく生きるためのエンパワーメントを基調として、職員の専門性の確保や支援体制等のソフト面での充実を図り、利用者の皆さんに喜んでいただけるサービスが提供できるよう、職員が一丸となつて取り組んで行きたいと考えています。次へのステップに向けて、引き続き関係各位のご理解とご支援をお願いいたします。

地域生活相談室 室長 牧野 武

て、またチップ入れ、ビーズ通し、色塗りなど指先を使った機能訓練も行っています。昨年度よりプラ板キー・ホルダーの下絵描きなど自主製品作りにも取り組ん



雷鳥苑は立山町にあり現在三十四名の方が通所しておられます。そのうち生活介護は一五名の方が利用しております。活動内容はペットボトルのリサイクル作業や、ダンボール組み立ての受託作業を行っています。それぞれ役割分担があり、テキパキと作業され

## 特集

### 雷鳥苑

であります。創作活動で継続して行っている貼り絵は、苑内や苑祭で掲示して皆さんに見てもらっています。今年度より新たにつまようじアートにも取り組んでいきましたよ

いと思っています。

天気が良い日は、気分転換と体力作りも兼ねて散歩しています。皆さんそれぞれのペースでできる事を思い思いに頑張っておられます。



就労継続支援B型は一九名の方が利用しておられます。受託作業では野菜加工、パンフレット差し込みを行っています。作業中は皆さん集中して行い、自分のできる分量を考えながら協力して作業を進めておられます。

畑ではネギや大根、さつまいも、枝豆、トマトなどの栽培を行っています。天気の良い日は苗

植え、除草、石拾いなどの

煙整備を

職員と一緒に

総行つ

ていま



マックスバリュを始め町内外でのイベントで積極的に販売を行っています。また工芸班では、自主製品として、マグネットやリース作りを行い、らいじいマスクট



ます。  
遠足や夏祭り、苑祭など楽しい活動や新しい発想を取り入れながら楽しい苑生活となるように日々活動しています。行事に限らずお近くにお越しの際はぜひ雷鳥苑にお立ち寄りください。



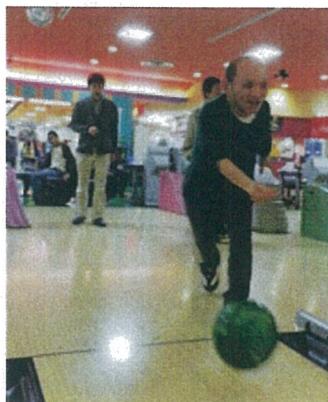
など町に根差した要素を取り入れながら、作品作りに励んでいます。またちりめんで花を作り、ストラップやブローチなどを製作しています。雷鳥苑の作品をぜひ手に取ってご覧ください。



## 四ツ葉園だより

### 慰労外出

昨年一年間の成果を労い、各活動班ごとに分かれて外出しました。療育班はファボーレや海の駅「蜃気楼」へ、作業班は魚津水族館やアピタでのボウリング、コンビニで買い物など行ないました。皆さんは沢山の商品を見てお菓子や余暇道具を買つたり、水族館では様々な生き物に緊張しながらも触っていました。



ボーリングではボーリング経験のある利用者さんの投げ方を見て、皆さんコツを掴んでいました。日頃できない経験をして、これを励みに今年度も頑張つていきたいと思います。



自治副会長 森川 俊治さん

「四ツ葉園のみなさんのためには、色々な仕事を頑張ります」



自治会長 白川 禮子さん

今年度の自治会も、会長・副会長を中心に「給食委員」「洗濯委員」「環境美化委員」で活動していくきます。

### 自治会活動紹介

自治副会長 宍戸 美文さん



定例会などの司会進行を、大きな声で行います。よろしくお願いします

定例会で今年度の自治会員の委任状渡しを行いました。

「みんなに喜んでもらえるように、給食当番やプレゼント渡しが頑張ります」

てきた自治会は、今年度もさらにパワーアップし、利用者のみなさんがよりよい園生活を送れるよう、活動していきます。



## 雷鳥苑だより

### 花見

四月七日（木）と八日（金）に三つの班に分かれて常願寺公園にお花見に行きました。七日は一班が行い、あいにくの雨でしたが、車内でおやつやジュースを飲んだり食べたりしながら、雨に濡れてしまつとりとした桜眺め、穏やかな一時を過ごしました。

八日は午前と午後に分かれて二班行い、曇り空でした。歩きました。見上げても花は残っていて、桜のトンネルを通り抜け春を満喫することができました。その後公園の遊具で遊んだり、バドミントンやキャッチボールをしたりして身体を動かしました。元気いっぱいに動いて楽しい笑顔が見られた後は美味しいおやつで一服し、ひらひら舞い散る花びらの中、ベンチに座つてゆったりと過ごし、春を感じた楽しい時間になりました。



おやつ  
美味しいね？



## 工房よつばだより

### お花見外出

四月六日（水）に桃山運動公園に花見外出に行きました。

天気も良く、桜も満開で

とても良い花見日和となりました。公園には多くの桜が植えてあり、広場までの道のりを桜のトンネルをくぐりながら行きました。広場ではバドミ

ントンやビーチバレー、ボールをして体を動かし楽しみました。普段の仕事ではあまり体を動かさないためか、いざバドミントンやビーチバレーを始めるとみんなはいきいきとしておられました。体を動かした後は、ベンチに座りおやつを食べました。桜の木の下で食べ、みんなはおいしいといい、花見を楽しんでおられました。



桜の木の下で食べるおやつは  
とても美味しいかったです。



バドミントンとビーチボールをしました

（4）



## さつき苑だより

### 花見外出

四月五日、  
七日に生活班・

就労班に分かれ  
てお花見外出へ

行きました。生活  
班は魚津総合公園へ  
行きました。天気に  
も恵まれ桜が満開の中、  
お弁当を食べ、散歩をし  
て、お花見を楽しみました。

就労班は松川べりへ行きました。  
あいにくの雨で花見は車  
中からとなりましたが、「花よ

り団子」と、バイキングでの食  
事を楽しんできました。



さつき苑  
の花壇には、利用者  
の方と一緒に  
チューリップ  
がきれい  
に咲きました。



### チューリップの開花



1班



2班

前には青空  
が出てき  
て、少し肌  
寒い日では  
ありました  
が、皆さん  
十分に花見  
を満喫しま  
した。

## つつじ苑だより

### ひな祭り会

三月三日（木）、

ひな祭り会を行  
いました。一ヶ月程前  
から、女性利用者

で可愛らしいひな人  
形を飾りました。当  
日は、ひな人形の由  
来を聞いた後、皆で桜  
餅を作つておいしく食べ  
ました。

おいしくできますように



花見外出

今年も四月六日（水）と十一日（月）に、二班に分かれて魚津総合

公園に花見に行つてきました。  
一班は、晴天に恵まれた暖かい日でした。満開の桜の花を見ながら、ゆっくりと公園内を散策してきました。

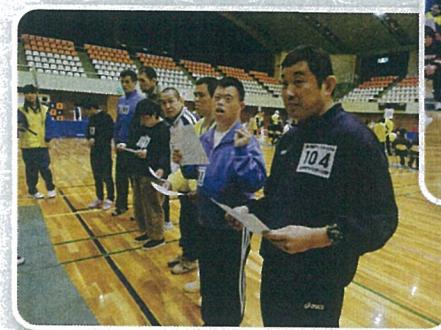
二班は、前日に雨が降り、どうなることかと心配していましたが、出掛けた直

## 地域相談室だより

### 皆でフライングディスク!

三月十三日、「第十五回フェスティバル障害のある人もない人も皆でフライングディスク！」にグループホームの利用者が参加しました。「参加するからには上位を目指そう！」と大会に向けて冬の寒空の下、たくさん練習を重ねてきました。

いよいよ当日。会場の雰囲気のまま緊張してしまい練習通りに投げられない人が続出し上位に食い込むような成績を出すことができず、表彰ではこんなはずじゃなかつたと残念そうでした。団体戦には職員もチームの一員として参加しました。こちらも練習したはずが全然入らず皆の足を引っ張ってしまいました。



秋にある県大会で優秀な成績をとり全国大会への切符を得ることを目標に練習を始める人も出てきました。次の県大会に限らず普段からフライングディスクに親しみ、個々の練習や仲間と協力をして結果を生む大切さや喜びを感じてきました。

悔しさが残る利用者の中には、秋にある県大会で優秀な成績をとり全国大会への切符を得ることを目標に練習を始める人も出てきました。

**新川会に来て一ヶ月  
今思うこと**

統括管理者 倉田 敦

私自身は県職員として主に児童福祉の世界で仕事を行なってきましたが、4月より新川会で働くにあたって大人の方に対しても何を大切に仕事して行なうべきかと考え込んでしまいました。子どもたちを対象としているときは「人が好きな人に育つてほしい」と願っています。

四ツ葉園では、利用者の方の生活の場との意識を大切にその中の「人としての成熟をする場」としたいと今思っています。

日々の何気ない日常生活の中での喜びや悲しさ怒りなどの感情の問題の解決には「時間の経過が必要」です。理屈で早期に解決できないことが多く、利用者の方が支援者である職員と共に「時間の経過」を大切に共に歩み、お互いが人として「ゆっくりと成熟・熟成できる場」となればと思います。

日中の就労支援や生活介護を行っている雷鳥苑・さつき苑・つじ苑・工房よつばでは働くこと

が生活の彩に大切な時間となつているように思います。ただお金を稼ぐために仕事をしているわけでなく、仕事そのものの中で価値はなく、仕事そのものの中で価値や喜びを見出せることが大切だと思われます。

稼ぎが良くてもつまらない仕事より稼ぎが少々少なくとも楽しい仕事を体験してほしいと思います。あらためて「稼ぎ」と「仕事」の違いについて考えてします。

現代は「結果」を第一に想定し、「結果」に囚われがちです。「生きること」への「質」を豊かに彩つて生きることへの「質」を豊かに彩つて生きることへ思います。

新川会の各事業所が利用者の方と共に「人生を豊かに彩る場」となればと思います。

